

再編案作成の考え方

優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針として、これまでのご意見をふまえ再編案を複数作成いたしました。

再編案は、八尾地域にお住まいの皆さま全員が利用する施設（＝地域施設）に関する再編案3案と、各地区にお住まいの方が利用する施設（＝地区施設）の再編案2案を作成しています。実際には、それぞれが組み合わさって、優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針が定まります。

（１）前提条件

これまで8つの視点で地域や公共施設の課題を整理してきましたが、再編案の作成にあたっては、①地域性の考慮、②地域資源の活用、③地域コミュニティの維持の3つの視点については、全ての再編案において前提条件となるよう作成しました。

視点	再編案作成にあたっての前提条件となる考え方
①地域性の考慮 ○9地区の成り立ち、地理的に独立している。 ○お祭り等文化活動の伝承が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ● お祭りや地域の行事を大切に、保存・活性化できるよう、これまでの施設を維持・存続する。 ● 9地区それぞれのコミュニティ活動が維持できるよう、それぞれに集会機能を持つ施設を維持する。
②地域資源の活用 ○豊富な地域資源を活かしきれていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統文化を保存継承する施設については機能を維持する。一部の施設は利用者の利便性が向上するよう、機能移転する。
③地域コミュニティの維持 ○9地区ごとにコミュニティ活動を支える施設が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの地区の活動拠点を今後も確保する。 ● 地域行事の場を今後も確保する。 ● 必要な避難所を確保する。

（２）その他の視点について

その他の視点については、提示した再編案をもとに比較・検証し、必要に応じて修正を加えながら、最適な配置の在り方を検討していきます。